





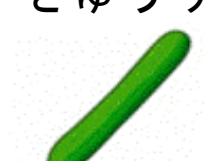



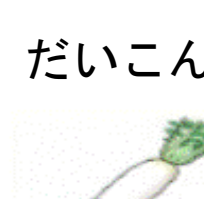




野菜の需給・価格動向レポート(平成25年6月17日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		5月の価格情報			6月の価格情報		生育及び価格の6月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・ 近畿ブロック旬別 平均販売価額		
			中旬	下旬				上旬
葉 茎 菜	 キャベツ	88.05	58	43	67.2	64	・入荷見込量：17,310t (102) ・主産地：千葉 (46)、茨城 (21)、群馬 (7)、東京 (5)	・千葉産は、少雨の影響で生育が鈍り、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。茨城産は、順調な生育で平年並みの出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。群馬産は、出荷が開始となり、少雨のため、やや小玉傾向となっているものの、今後は回復する見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。
		83.73	63	47	81.66	65	・入荷見込量：4,100t (94) ・主産地：茨城 (26)、愛知 (25)、兵庫 (14)、福岡 (7)、大分 (6)	
	 ねぎ	264.1	275	340	264.1	331	・入荷見込数量：4,310t (100) ・主産地：茨城 (66)、千葉 (20)、輸入 (5)	・茨城産は、平年並みの出荷となっているものの、少雨の影響で細め傾向となっており、今後はやや少なめの出荷となる見込み。千葉産は、順調な生育で、平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		334.73	295	309	334.73	338	・入荷見込数量：250t (117) ・主産地：徳島 (25)、香川 (20)、三重 (14)、奈良 (10)、高知 (10)、大阪 (9)、愛媛 (6)	
	 はくさい	67.05	34	25	67.05	37	・入荷見込量：5,580t (100) ・主産地：長野 (53)、茨城 (31)、群馬 (13)	・長野産は、少雨の影響により、小玉傾向で少なめの出荷となり、今後もやや少なめの見込み。茨城産は、ほぼ平年並みに6月10日の週で出荷終了となった。 ・長野産の出荷が少なめと見込まれるものの、需要が弱いことから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		77.96	58	57	77.96	60	・入荷見込量：2,900t (93) ・主産地：長野 (81)、茨城 (13)	
	 ほうれんそう	376.1	386	305	376.1	362	・入荷見込量：1,510t (104) ・主産地：群馬 (34)、茨城 (18)、岩手 (15)、栃木 (14)、埼玉 (6)	・群馬産は、高冷地への産地の切り替わりの時期で少なめの出荷となっているものの、今後は高冷地の生育が回復し、安定した出荷となる見込み。茨城産は、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		396.89	449	405	396.89	429	・入荷見込量：510t (100) ・主産地：岐阜 (76)、群馬 (10)、北海道 (6)	
	 レタス	156.23	109	100	120.13	107	・入荷見込量：7,960t (100) ・主産地：長野 (73)、群馬 (20)	・長野産は、少雨の影響で小玉傾向であるものの、本格的な出荷の時期を迎え、出荷量が増加しており、今後は平年並みの出荷の見込み。群馬産は、順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		165	123	106	125.61	114	・入荷見込量：1,700t (101) ・主産地：長野 (96)	
	 たまねぎ	71.02	61	61	71.02	73	・入荷見込量：9,970t (105) ・主産地：佐賀 (50)、兵庫 (11)、香川 (9)、輸入 (9)、愛知 (2)	・佐賀産は、収穫作業がほぼ終了し、作柄も良く、L玉中心の出荷となっているものの、今後は田植えの作業と重なることから、月末まではやや少なめの出荷の見込み。兵庫産は、少雨の影響で玉の肥大が進まず、平年より少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。
		71.02	59	65	71.02	83	・入荷見込量：3,500t (100) ・主産地：兵庫 (67)、佐賀 (21)	
果 菜	 きゅうり	189.84	153	140	189.84	261	・入荷見込量：7,470t (100) ・主産地：埼玉 (32)、群馬 (16)、福島 (12)、茨城 (10)、千葉 (9)、栃木 (6)	・埼玉産は、出荷の終盤となり、出荷量はやや少なめの見込み。群馬産も、出荷の終盤となり、まとまった出荷は、中旬までの見込み。福島産は、出荷が開始となり、少雨の影響でやや少なめの出荷となっているものの、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・埼玉産及び群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、月末までは平年を上回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)
		177.22	135	129	177.22	272	・入荷見込量：1,600t (89) ・主産地：宮崎 (31)、愛媛 (11)、群馬 (9)、香川 (8)、高知 (8)、北海道 (7)、徳島 (6)	
	 トマト	209.59	284	226	209.59	233	・入荷見込量：9,400t (100) ・主産地：栃木 (20)、茨城 (14)、愛知 (13)、千葉 (12)、熊本 (12)、群馬 (6)、埼玉 (5)	・栃木産は、M玉中心で小玉傾向なものの、生育が順調で、平年を上回る出荷となり、月末までは順調な出荷の見込み。茨城産及び愛知産は、順調な出荷で、平年並みの出荷の見込み。千葉産及び熊本産は、出荷の終盤となり、出荷量は徐々に減少し、月末までの出荷の見込み。 ・千葉産及び熊本産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。
		228.53	293	230	228.53	240	・入荷見込量：2,000t (101) ・主産地：熊本 (33)、愛知 (15)、石川 (11)、福岡 (11)、北海道 (9)	
	 なす	297.07	308	264	297.07	294	・入荷見込量：4,220t (100) ・主産地：高知 (34)、福岡 (17)、群馬 (16)、茨城 (7)、栃木 (7)、埼玉 (3)	・高知産は、出荷の終盤となり、出荷量が徐々に減少し、月末までの出荷の見込み。福岡産も、出荷の終盤となり、出荷量が徐々に減少する見込み。群馬産は、少雨の影響でやや少なめの出荷となっているものの、今後は適雨もあり安定した出荷となる見込み。 ・群馬産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		271.01	305	262	271.01	267	・入荷見込量：1,150t (110) ・主産地：高知 (24)、大阪 (21)、熊本 (19)、福岡 (12)、岡山 (9)	
	 ピーマン	308.36	278	218	251.5	197	・入荷見込量：2,530t (100) ・主産地：茨城 (88)	・茨城産は、生育が順調で潤沢な出荷となっていたものの、成り疲れてやや少なめの出荷となる見込み。 ・茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		283.1	233	176	266.65	180	・入荷見込量：420t (99) ・主産地：宮崎 (50)、高知 (25)、和歌山 (10)、大分 (8)	
根 菜	 だいこん	86.59	71	55	86.59	69	・入荷見込量：8,140t (98) ・主産地：青森 (54)、千葉 (31)、北海道 (6)	・青森産は、遅れていた生育が回復し本格的な出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。千葉産は、出荷の終盤となり、中旬までの出荷の見込み。 ・青森産の出荷が順調と見込まれるものの、千葉産の出荷が終了することから、平年を下回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
		94.24	53	51	94.24	68	・入荷見込量：2,400t (99) ・主産地：青森 (36)、北海道 (22)、長崎 (13)、鹿児島 (10)、岡山 (6)	
	 にんじん	156.99	120	119	133.01	132	・入荷見込量：6,380t (100) ・主産地：千葉 (76)、埼玉 (11)、輸入 (5)	・千葉産は、生育が順調で肥大が進み、平年並みの出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、平年並みの出荷となっているものの、出荷の終盤を迎え、まとまった量の出荷は中旬までとなる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		148.36	105	94	132.62	109	・入荷見込量：2,300t (97) ・主産地：長崎 (45)、和歌山 (24)、徳島 (12)、兵庫 (7)、宮崎 (6)	

種類		5月の価格情報			6月の価格情報		生育及び価格の6月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・ 近畿ブロック旬別 平均販売価額	
			中旬	下旬			
い も		－	280	307	344	359	・ 千葉産は、平年より少なめの出荷となっている。鹿児島産は、離島中心の出荷となり、平年並みの出荷の見込み。 ・ 鹿児島産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		－	335	422	347.9	409	
		131.8	96	96	131.8	93	・ 長崎産は、やや小玉傾向ではあるものの、作柄も良く、雨が少ない分、平年より早く収穫作業が終了し、平年を上回る出荷となっている。静岡産は、生育が順調で、月末までは平年並みの出荷となる見込み。 ・ 長崎産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		131.8	104	102	131.8	98	

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
2) 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
3) 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック
4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5,019gで前年比109%、購入金額は、1,809円で同95%となり、購入数量は前年をかなり上回り、購入金額は前年をやや下回った。

また、小売物価統計によると、5月のキャベツの小売価格は、142円で過去5か年平均比81%、レタスは、307円で同83%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を大幅に下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）

年	過去5か年平均		平成24年		平成25年			
	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	前年比	購入金額（円）	前年比
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,243	101	1,669	102
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,553	101	1,652	95
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	4,961	108	1,769	96
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	5,019	109	1,809	95
5月	5,055	1,905	4,945	1,948		0		0
6月	5,048	1,881	5,103	1,875		0		0
7月	4,421	1,691	4,386	1,675		0		0
8月	4,318	1,689	4,245	1,618		0		0
9月	4,839	1,783	4,916	1,703		0		0
10月	5,280	1,840	5,242	1,761		0		0
11月	5,030	1,630	5,039	1,602		0		0
12月	5,140	1,837	5,169	1,888		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」・過去5か年平均は、平成20～24年の平均。

主要野菜の小売価格（東京都区部）
(単位：円／kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
1月	187	203	109	579	904	156
2月	203	204	100	555	722	130
3月	207	181	88	512	434	85
4月	248	207	83	466	426	91
5月	175	142	81	369	307	83
6月	140		0	338		0
7月	149		0	308		0
8月	138		0	414		0
9月	142		0	526		0
10月	150		0	467		0
11月	155		0	385		0
12月	148		0	495		0

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
1) 過去5か年平均は、平成20～24年の平均。
2) 平成25年5月の値は、5月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

5月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比61%（中国は同68%、ニュージーランドは同26%）の1万7千トンとなり、にんじんは、同88%（中国は同99%、ニュージーランドは同47%）の6千トンとなり、ねぎは、同105%（中国は同105%）の4千トンとなった。たまねぎは、前年を大幅に下回り、にんじんはかなり下回り、ねぎはやや上回った。

野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

区分	平成23年		平成24年		平成25年1～4月		平成25年4月	
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	310,935	79	82,364	84
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	593,595	99	164,363	103
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	904,530	91	246,727	96
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	444,907	89	120,678	94
中国産シェア	52		51		49		49	

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入数量

(単位：トン、%)

品目	輸入先	平成24年5月(A)	平成25年5月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	27,963	16,987	61
	中国	20,766	14,035	68
	ニュージーランド	5,426	1,422	26
にんじん	合計	6,264	5,508	88
	中国	4,904	4,853	99
	ニュージーランド	1,067	504	47
ねぎ	合計	4,161	4,380	105
	中国	4,158	4,361	105

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成25年5月は、速報値である。

4 トピック ― きゅうりの価格動向 ―

きゅうりの価格は、4月下旬から5月下旬にかけて平年を下回って推移し、直近10年で見ると、5月中旬は一番安く、5月下旬は2番目に安い水準となった。

これは、4月から5月にかけて主産地の埼玉や群馬が日照時間に恵まれ、特に5月は日照時間の高い方の記録を更新したような状況であったことから、きゅうりの花つきが良く、入荷量が増加したことによるものと思われる。

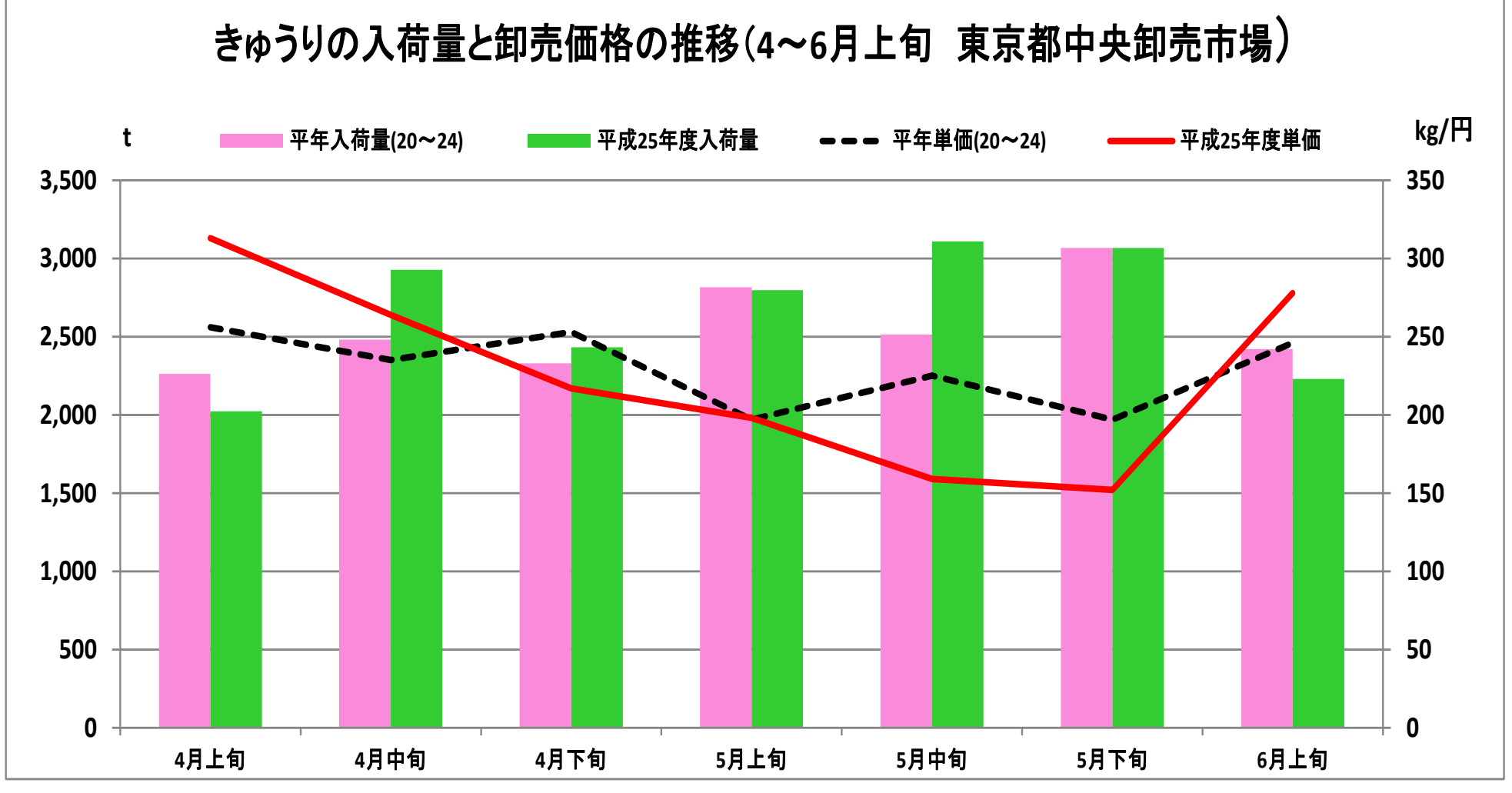
しかしながら、6月に入って価格は一気に上昇し、現在に至っている。

これは、6月上旬も日照時間が平年を上回っていたものの、5までの生育が良好で花つきが良く、若干着果数が多かったことから、樹が成り疲れを起こし、出荷量の減少を招いたことによるものと思われる。

今後は、産地の切り替わり時期で、埼玉産や群馬産は終盤になり出荷量がやや少なめで推移することから、価格が高い状態が続くものの、7月からは、福島産等の東北産の出荷が本格化する中、今のところ生育が順調なことから、価格も落ち着いてくるものと思われる。

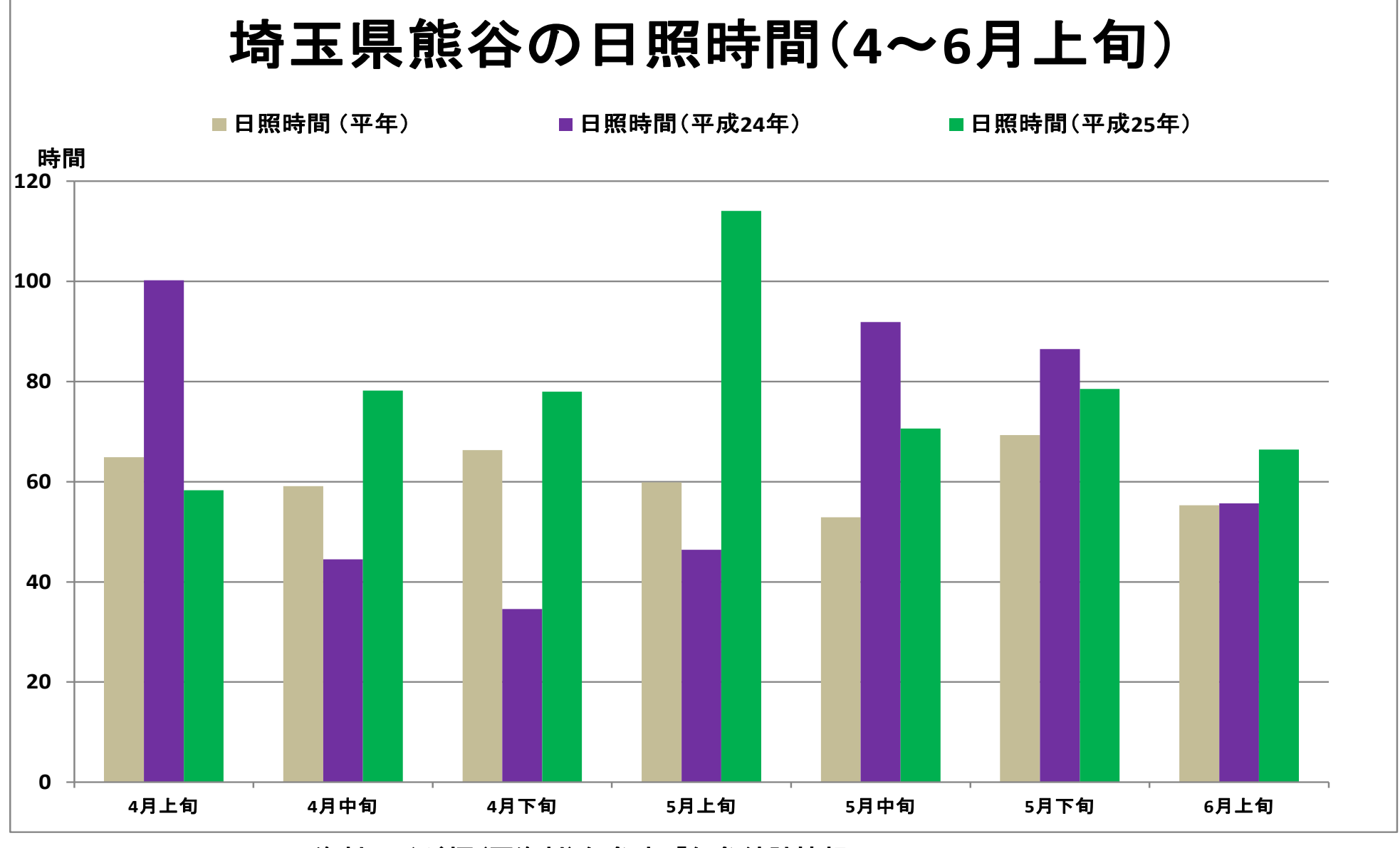
なお、夏場のきゅうりの供給量の3～4割を占める福島では、東京電力の原子力発電所の事故に伴う風評払拭を図るため、福島県農林水産物の魅力と安全・安心に関するPR活動を行っており、その成果が上がるのが期待される。

きゅうりの入荷量と卸売価格の推移(4～6月上旬 東京都中央卸売市場)



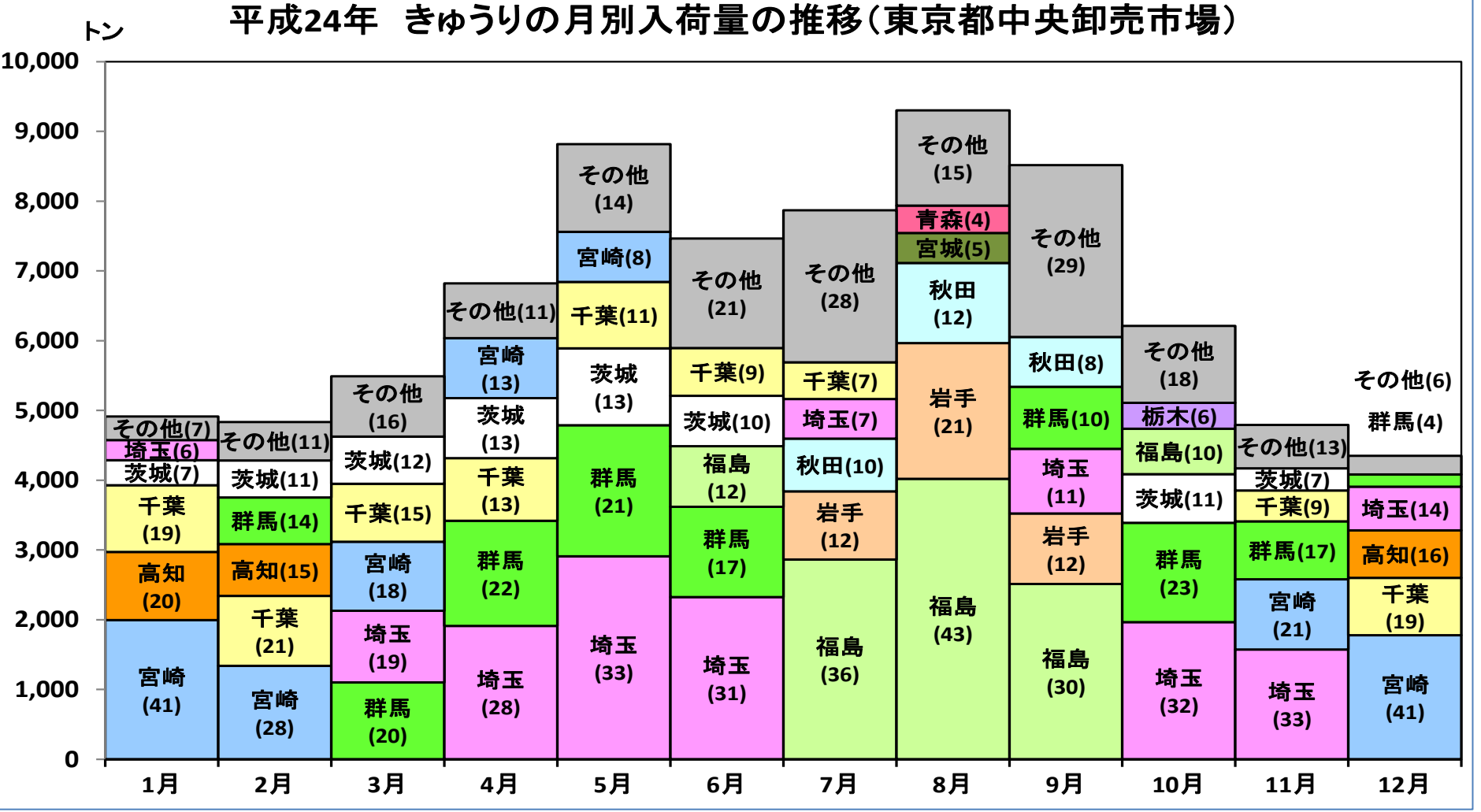
資料：青果物情報センター

埼玉県熊谷の日照時間(4～6月上旬)



資料：ベジ探(原資料)気象庁「気象統計情報」

平成24年 きゅうりの月別入荷量の推移(東京都中央卸売市場)



資料：東京都「平成24年東京都中央卸売市場年報」

福島県産農林水産物のPR活動

・福島県は、原子力災害に伴う福島県産農林水産物の風評払拭を図るため、「新生！ふくしまの恵み発信事業」を立ち上げ、「おいしいふくしま、できました。」をキャッチフレーズに、年間を通じて県産農林水産物の魅力と安全・安心に関するPR活動を実施。

主な活動内容

- ・5月31日(金)から首都圏で、新TV-CM第一弾「野菜」篇(15秒)オンエア開始。「福島県の生産者が育てた、取れたての「きゅうり」を、TOKIOのみんなが美味しく食べて、「おいしいふくしま、できました。」をアピール。
- ・6月10日 マスコミ向けの「新生！ふくしまの恵み発信事業・第1回メディアセミナー」を実施。JA担当者や生産者らが、きゅうりの魅力をPR。
- ・今後も、他の品目の出荷時期に合わせて、メディアPRやセミナー、産地ツアーを実施予定。

福島県農林水産部農産物流通課作成資料より引用

